（別紙様式4）

令和8年11月30日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
東京ビューティーアート専門学校	平成11年12月10日	中村　光一	〒　113-0033 （住所）　東京都文京区本郷3丁目37番8号 （電話）　03-5805-1251
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人三幸学園	昭和60年3月8日	鳥居　敏	〒　113-0033 （住所）　東京都文京区本郷三丁目23番16号 （電話）　03-3814-6151

分野	認定課程名	認定学科又は専攻科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
衛生	衛生専門課程	トータルビューティー科	平成13(2001)年度	－	平成27(2015)年度

学科又は専攻科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、美容業界に従事しようとする者に必要な実践的かつ専門的な知識、技能を教授することによって、明日の美容業界を担う人材を養成することを目的とする。
学科又は専攻科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	（取得可能な資格）トータルメイクアップ検定ベーシック～アドバンス・JNECネイリスト技能検定1～3級・JNAジェルネイル技能検定試験初級～上級・パーソナルカラーコーディネート検定ベーシック・日本化粧品検定1～2級・きもの講師免許2～3級・サービス接遇検定1～3級 主体性・多様性・協働性を身につけ、様々な美容現場で活躍する人材を育成する。

修業年限	昼夜の別	全課程の修了に必要な総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	62　単位	117 単位	142 単位	5 単位	0 単位	13 単位

学生総定員	学生実員(A)	留学生数(学生実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)	中退率
273 人	227 人	23 人	10%	15 %

就職等の状況

■卒業者数(C)	67	人
■就職希望者数 (D)	43	人
■就職者数(E)	43	人
■地元就職者数 (F)	41	人
■就職率 (E/D)	100	%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)	95	%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)	64	%
■進学者数	8	人

■その他

（令和　7　年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

美容部員、ネイルサロン、エステサロン、脱毛サロン

当該学科又は専攻科のホームページURL	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-beauty/course/total/

企業等と連携した実習等の実施状況（A、Bいずれかに記入）

総単位数	62 単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	17 単位
うち企業等と連携した演習の単位数	0 単位
うち必修単位数	9 単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	0 単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	0 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	25 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	8 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	1 人
計		34 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	25 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

○教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携

（1）教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針及び教育課程編成委員会等の位置付け

a.教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか。	している
開催日時実績	第1回　令和8年6月30日　14：00～16:00/第2回　令和9年2月3日　12:00～14:00
b.教育課程編成委員会に、以下①～③の類型に該当する企業等委員が参加しているか。 ※①から③において、①又は②から1人、③から1人が委員として参画している場合、「している」を選択。 ※①又は②から1人、③から1人が委員として参画していない場合、「していない」を選択。	している
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）	
②学会や学術機関等の有識者	
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員	
c.学校の教育課程編成の責任者が委員参加しているか。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.教育課程編成委員会の議事を記録し、学内回覧等しているか。	している
f.企業等委員の意見を教育課程編成見直しに反映しているか。	している
g.次の教育課程編成委員会に、教育課程編成の見直し結果等を報告しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

教育課程編成員会を通じて地域産業振興に関する知見を得るため、美容振興会に参画いただいており、学会有識者に関しては美容学会に参加いただいている。また実務に関する知見を有するとして、実習指導で学生と関わっていただいている美容の役職者に参画いただき、業界における人材ニーズについて意見をいただいている。
美容業界の就職先企業から卒業生に関するアンケート回答を取得・集計し、教育課程編成委員会の際に報告したうえで今後の業界職員に求められる技能等について意見収集を行っている。また実習先・就職先で使われている、美容業界で新たに必要となっている知識・技術について、委員会前後に詳細なヒアリングを行い、授業内容への導入を検討している。
これらの取組を行うことで、（1）カリキュラムの企画・運営・評価、（2）各授業科目の内容・方法の充実及び改善、（3）教科書・教材の選定、（4）その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修等を検討する際に参考としている。
美容業界の就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界動向や求められる人材要件、及び業界のニーズを正確に捉え、本校のカリキュラムや授業内容を見直すよう努めている。

（2）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年9月30日現在

名　前	所　　属	任期	種別
木下　美穂里	NPO法人日本ネイリスト協会理事	令和7年4月1日～令和9年3月31日（2年）	①
野田　かをり	パルファン・クリスチャン・ディオール株式会社 営業本部リテールヒューマンリソースマネージャー	令和7年4月1日～令和9年3月31日（2年）	③
竹内　康崇	株式会社　アンジェラックス　人事部長	令和7年4月1日～令和9年3月31日（2年）	③
小倉　裕子	東京ビューティーアート専門学校　副校長		－
渡部　景子	東京ビューティーアート専門学校　副校長		－
衛藤　薫	東京ビューティーアート専門学校　主任		－
青波　翔子	東京ビューティーアート専門学校　主任		－
藤原　菜穂子	東京ビューティーアート専門学校　主任		－
田村　達也	東京ビューティーアート専門学校　主任		－

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針及び実習・演習等における企業等との連携内容

a.実習等又は演習の形態の授業で企業等連携を行っているか。	している
b.企業等と連携を行う際は、企業等との組織的な協定や契約を締結しているか。	している
c.企業等との連携内容を、連携先企業等との文書等で明示的に合意しているか（連携のマニュアル、手引き等定めているか）。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.企業等の講師に対して事前打ち合わせや研修を行っているか。	している
f.企業等連携の実習・演習等の内容を学校側は適切に確認しているか（教員の見回り実施、実習日誌の作成等）。	している
g.企業等連携の実習・演習等における成績評価について、企業等と協議を行っているか。	している
h.適切な企業等連携の実習・演習となるよう、必要に応じて連携先企業等を見直しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

＊授業内容について（1年次に1週間程度、連携企業先で現場実習を実施し、美容業界に必要な知識を習得する）
＊評価について（連携企業による項目別の評価をもとに最終評価に反映させ、成績認定を行うものとする）

（2）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科目概要	連　携　企　業　等
サロンワークⅠ-H	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、サロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。	株式会社A.Rism
サロンワークⅡ-H	3.【校外】企業内実習（4に該当するものを除く。）	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、ネイルサロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、実際にお客様をお呼びして施術を行い、技術なども学んでいく。	株式会社A.Rism
サロンワークⅡ-F	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、サロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。	株式会社TAT
サロンワークⅢ-F	3.【校外】企業内実習（4に該当するものを除く。）	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、ネイルサロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、実際にお客様をお呼びして施術を行い、技術なども学んでいく。	株式会社TAT
着付けⅠ	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	着付けに関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てる。	株式会社K・Wプロジェクト

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）認定専門課程等の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日の美容業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。
・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

（2）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	コンテスト対策研修	連携企業等：	株式会社スペースネイル
期間：	令和7年10月27日（月）	対象：	教職員(11名)
内容	成果を残せるコンテスター育成のレクチャー		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	AI時代の美容業界で「未踏の市場」を創る人材とは何か −教育が変われば、業界の未来は変わる−	連携企業等：	株式会社オシアスター 手塚 拓海　様
期間：	令和8年8月20日(木)	対象：	教職員（33名）
内容	AI時代の美容業界で求められる理想の教員像を理解する		
研修名：	生きる力を育てよう	連携企業等：	株式会社L＆Rヴィレッジ 喜多川 泰　様
期間：	令和8年8月24日(月)	対象：	教職員(80名)
内容	教員として学生に「人間力」を身につけさせる重要性とアプローチ方法について学ぶ		
研修名：	VRゴーグル使用方法の確認および授業での活用方法のための研修	連携企業等：	株式会社スリー
期間：	令和8年9月24日(木)	対象：	教職員(6名)
内容	学生へのVRゴーグル使用方法のための説明と、VRゴーグルの活用方法のノウハウについて学ぶ		

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	コンテスト対策研修	連携企業等：	株式会社スペースネイル
期間：	令和9年10月25日（月）	対象：	教職員(10名)
内容	成果を残せるコンテスター育成のレクチャー		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	合理的配慮の指導法研修	連携企業等：	調整中
期間：	令和9年3月5日（金）	対象：	教職員（110名）
内容	ADHDなどの障害を抱える学生への指導法レクチャー		

4.「当該専門課程等を置く専修学校において、学校教育法第百三十二条の二第二項の規定により評価を受け、その結果を公表していること。」関係

○学校関係者評価

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	
（1）教育理念・目的・目標	
1　教育理念、目的及び目標の設定等	
①教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	同内容評価項目を設けている
（2）学校運営	
1　教育課程の編成と授業科目	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成したうえで、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	同内容評価項目を設けている
2　教育の実施	
①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位数の総授業単位数に占める割合を具体的に設定していること。	同内容評価項目を設けている
3　単位・卒業認定	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む習得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	同内容評価項目を設けている
4　学修成果目標の達成状況	
①卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得を含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
②学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
（3）学生の受入れ、学生支援	
1　学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	
①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	同内容評価項目を設けている
2　自主的な学習の促進に対する支援	
①学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　多様な学生に対する支援	
①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
4　学生生活に関する支援	
①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	同内容評価項目を設けている
②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	同内容評価項目を設けている
③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。　※簡易評価項目	同内容評価項目を設けている
④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	同内容評価項目を設けている

(4)教育実施組織・教員	
1　教員の配置、募集、採用	
①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等(教員の採用基準等)を整備し、適正に運用していること。	同内容評価項目を設けている
②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　教員の組織編制等	
①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	同内容評価項目を設けている
②教員間で連携、協力体制を構築していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　教員の資質の向上	
①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていこ	同内容評価項目を設けている
③教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
(5)教育環境	
1　教育環境の整備	
①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	同内容評価項目を設けている
②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　安全対策、防災組織	
①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	同内容評価項目を設けている
②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　施設・設備等の点検、改善等	
①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。※任意項	同内容評価項目を設けている
②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。※任意項目	同内容評価項目を設けている
(6)教育活動の基盤と改善・向上の取組	
1　中期事業計画と財務基盤	
①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	同内容評価項目を設けている
2　学校運営	
①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること(職業教育に関するマネジメント(教育の企画・設計・運営等)における責任体制を含む。)。	同内容評価項目を設けている
3　学校評価の実施と改善活動	
①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。	同内容評価項目を設けている
③学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	同内容評価項目を設けている
④学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
4　社会からの理解と情報の公表	
①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	同内容評価項目を設けている
②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている

（3）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和8年9月30日現在

名　前	所　　属	任期	種別
石川　茜	FAVORIX BEAUTY株式会社　経営企画室主任	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業関連
岡西　美緒	株式会社TAT 東日本営業部　課長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業関連
関根　孝文	株式会社Lond　副社長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業関連
中島　えり	第13期卒業生　エステサロンピアリ瑞江経営者	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	卒業生
平井　宏子	SANKO日本語学校東京　専門課長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	学識経験者
齋藤　亜希	飛鳥未来きずな高校お茶の水キャンパス　キャンパス長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	学識経験者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	
公表URL	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-beauty/disclosure/		
公表時期	令和8年7月15日		

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）情報提供

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	
公表URL	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-beauty/disclosure/		
公表時期	令和8年5月12日		

授業科目等の概要

	（衛生専門課程　トータルビューティー科）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			サロンマナーⅠ	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。	1年前	2	○			○		○	○	
2	○			カラーコーディネートⅠ	色に関する知識、法則、技法を理解する。	1年前	2	○			○			○	
3	○			未来デザインプログラムⅠ	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する	1年前	1	○			○		○		
4			○	デッサン・イラストレーション	観察力と洞察力を養い芸術を理解する。	1年前	2	○			○			○	
5			○	皮膚学Ⅰ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ。	1年前	2	○			○		○		
6			○	生理学Ⅰ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する。	1年前	2	○			○		○	○	
7			○	栄養学Ⅰ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。	1年前	1	○			○			○	
8			○	香粧品学Ⅰ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。	1年前	1	○			○		○		
9			○	エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅰ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準と衛生管理・感染症について理解する。	1年前	1	○			○			○	
10			○	ベーシックエステⅠ	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。	1年前	2		○		○			○	
11			○	ベーシックネイルⅠ	ネイルについて歴史などの背景から始まり各部名称や病気・消毒法などを理解し、基礎的なケアカラー技術を実践できる。	1年前	2		○		○			○	

12			○	ベーシックメイクⅠ	スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。	1年前	2		○		○			○	
13			○	就職対策Ⅰ	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける。	1年前	1	○			○		○		
14			○	キャリアデザインⅠ	自己成長と社会適応力を高め、充実した社会人へ向けての準備をする。	1年前	1	○			○		○		
15	○			カラーコーディネートⅡ	色に関する知識、法則、技法を理解する。	1年後	2	○			○			○	
16	○			未来デザインプログラムⅡ	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する。	1年後	1	○			○		○		
17			○	就職対策Ⅱ	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける。	1年後	1	○			○		○		
18			○	キャリアデザインⅡ	自己成長と社会適応力を高め、充実した社会人へ向けての準備をする。	1年後	1	○			○		○		
19	○			サロンマナーⅡ	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。	1年後	1	○			○		○	○	
20			○	SNS・WEB・フォトスキル	美容業界の現状やニーズを把握し、SNS・WEB・フォトスキルを活用したマーケティング・集客を理解し実践できるようになる。	1年後	1		○		○		○		
21			○	皮膚学Ⅱ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ。	1年後	2	○			○		○		
22			○	生理学Ⅱ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する。	1年後	2	○			○		○		
23			○	栄養学Ⅱ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。	1年後	1	○			○			○	
24			○	香粧品学Ⅱ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。	1年後	1	○			○		○		
25			○	ベーシックネイルⅡ	エステ認定試験内でのネイル技術を学び実践でき、さらに基礎に加えてＪＮＡ２級課題である爪の補修・補強を学ぶ。	1年後	1		○		○			○	

26			○	ベーシックエステⅡ	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったフェイシャル・ボディトリートメントを理解する。	1年後	1		○		○			○	
27			○	ビューティーカウンセリング	メイクの業界で求められる人材や接客においての言葉使いを学び、また化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける。	1年後	2	○			○		○	○	
28			○	検定メイクⅠ	メイクの基礎知識や技術を学びメイク検定合格をする。	1年後	3	○			○		○	○	
29			○	ヘアアレンジⅠ	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする。	1年後	2		○		○			○	
30			○	パーソナルメイク	基礎技術をテーマに合わせる(応用)メイクアップが出来るようになる。	1年後	2		○		○		○	○	
31			○	ベーシックメイクⅡ	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す。	1年後	1		○		○			○	
32			○	エステティックカウンセリングⅠ	一人ひとりの心や体の悩みの相談に応じて人間的な理解を深めて、悩みを解決へと導く心理学に基づく療法を理解する。	1年後	1	○			○			○	
33			○	エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅱ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。	1年後	1	○			○			○	
34			○	プロフェイシャルⅠ	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事項・禁忌事項を学び肌の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける。	1年後	2		○		○			○	
35			○	プロボディⅠ	全身のマッサージを学び、採寸から分析しクライアントに合わせたマッサージを提供する。注意事項・禁忌事項を学び身体の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける。	1年後	2		○		○			○	
36			○	アロマテラピーⅠ	アロマテラピーの基礎知識、精油のプロフィール、トリートメント法、嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学、アロマテラピーに関わる法律問題・資格制度を学ぶ。	1年後	2	○			○			○	
37			○	スカルプチュア	ＪＮＥＣ１級課題となるスカルプチュア・イクステンションの基礎を学び、知識とともに技術向上を目指し、アクリリックの特性を理解して施術が出来る。	1年後	2		○		○			○	
38			○	ネイルケア&ネイルアートⅠ-Ⅰ	ＪＮＥＣ2級検定へ向けて、ニッパーのハンドリングやファイリング技術の強化と共に、様々なネイルアート（フラット）を描くことが出来る。	1年後	2		○		○			○	
39			○	検定対策Ⅰ	ＪＮＥＣ３級検定を取得し、更なる上の級やＪＮＡジェル検定初級の取得を目指し、ネイリストとしての基礎の完全にマスターし、実践できる。	1年後	3	○			○			○	

40			○	ジェルネイルⅠ	ジェルの基礎を学び知識とともに技術向上を目指し、特性を理解して説明して施術が出来るようにする。	1年後	2		○		○			○	
41			○	コンテストⅠ	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる。	1年後	1	○			○			○	
42			○	フェイシャル&ボディⅠ	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントを理解する。	1年後	2		○		○			○	
43			○	ネイルアートⅠ	ＪＮＥＣ３級のアートに加えて、更に上級検定やサロンで通用するネイルアートの技法を学び習得し、アートでの色使いや筆の使い方を習得する。	1年後	1		○		○			○	
44			○	ネイル演習	ＪＮＥＣ３級の取得をして、更に上級のＪＥＣ２級検定へ向けて付け爪などの技術を習得し、より深くネイルケアの大切さを理解する。	1年後	1		○		○			○	
45			○	パーソナルヘア&メイクⅠ	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする。	1年後	1		○		○			○	
46			○	検定メイクⅡ	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す。	1年後	2	○			○			○	
47			○	スマホフォト技術	スマートフォンを使って作品撮りや自撮りのテクニックを身に付ける。	1年後	1		○		○		○		
48			○	自己プロデュース	客観的な分析力と表現力を身に付ける。	1年後	1		○		○			○	
49			○	パーソナルスタイル	顔のパーツを最も美しく引き立てるメイク・理論を習得する。	1年後	1	○			○		○		
50			○	ビューティーフード	美容と健康に効果的な食の伝統と知識・食事法を理解する。	1年後	1	○			○		○		
51			○	サロンワークⅠ-Ⅰ	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。	1年後	1			○	○			○	
52		○		サロンワークⅡ-Ⅰ	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。 ②「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。	2年前	1			○	○			○	○
53		○		サロンワークⅢ-Ⅰ	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。 ②「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。	2年後	1			○	○			○	○

54			○	施設実習Ⅰ	美容業の現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。	2年前	1			○		○	○		○
55			○	施設実習Ⅱ	美容業の現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。	2年前	1			○		○	○		○
56			○	就職対策Ⅲ	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける。	2年前	1	○			○		○		
57			○	就職対策Ⅳ	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける。	2年後	1	○			○		○		
58			○	着付けⅠ-A	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てる。	2年前	1		○		○			○	○
59			○	着付けⅠ	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てる。	2年前	1		○		○			○	○
60			○	着付けⅡ	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てる。	2年後	1		○		○			○	○
61			○	ビューティー接客Ⅰ	ビジネスシーンで使える外国語の基礎と知識を学ぶ・接客に必要な外国語が出来るようになる。	2年前	2	○			○		○	○	
62			○	ビューティー接客Ⅱ	ビジネスシーンで使える外国語の基礎と知識を学ぶ・接客に必要な外国語が出来るようになる。	2年後	2	○			○		○	○	
63			○	ビューティーメイクⅠ-E	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う。	2年前	2		○		○		○	○	
64			○	ビューティーメイクⅡ-E	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う。	2年後	2		○		○		○	○	
65			○	ブランドリサーチⅠ	化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける。	2年前	2		○		○		○	○	
66			○	ブランドリサーチⅡ	化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける。	2年後	2		○		○		○	○	
67			○	カウンセリングⅠ	化粧品販売員として必要な知識を身に付ける。	2年前	4	○			○		○	○	

68			○	カウンセリングⅡ	化粧品販売員として必要な知識を身に付ける。	2年後	4	○			○		○	○	
69			○	クリエイティブヘアメイクⅠ	ショーや撮影など様々な場面で施すヘアメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。	2年前	2		○		○		○	○	
70			○	クリエイティブヘアメイクⅡ	ショーや撮影など様々な場面で施すヘアメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。	2年後	2		○		○		○	○	
71			○	ファッションⅠ	ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める。	2年前	1	○			○		○	○	
72			○	ファンションⅡ	ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める。	2年後	1	○			○		○	○	
73		○		サロンワークⅠ-H	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理にいついて学びサロン運営を行う。	2年前	2			○	○		○	○	○
74		○		サロンワークⅡ―H	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理にいついて学びサロン運営を行う。	2年後	2			○	○		○	○	○
75			○	ビューティーメイクⅠ-F	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う。	2年前	1		○		○		○	○	
76			○	ビューティーメイクⅡ-F	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う。	2年後	1		○		○		○	○	
77			○	スチールヘアメイクⅠ	スチールヘアメイクの技術を学び実践できるようにする。	2年前	2		○		○		○	○	
78			○	スチールヘアメイクⅡ	スチールヘアメイクの技術を学び実践できるようにする。	2年後	2		○		○		○	○	
79			○	ヘアアレンジⅡ	１年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2年前	2		○		○			○	
80			○	ヘアアレンジⅢ	１年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2年後	2		○		○			○	
81			○	ビューティーカウンセラーメイクⅠ	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する。スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する。	2年通	4	○			○		○			

82			○	ビューティーカウンセラーメイクⅡ	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する。スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する。	2年通	4	○			○		○		
83			○	ブライダルメイクⅠ	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。 現場を意識した技術を出来る様になる。	2年前	2		○		○			○	
84			○	ブライダルメイクⅡ	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。 現場を意識した技術を出来る様になる。	2年後	2		○		○			○	
85			○	特殊メイクⅠ	ボディアート・傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び、実践できるようにする。	2年前	2		○		○			○	
86			○	特殊メイクⅡ	ボディアート・傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び、実践できるようにする。	2年後	2		○		○			○	
87			○	アーティストメイクⅠ	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。	2年前	2		○		○			○	
88			○	アーティストメイクⅡ	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。	2年後	2		○		○			○	
89			○	フォト&ファッションⅠ	フォトは写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によっての注意点等を理解し、実践力を身につける。 ファッションは自身の好みだけにとらわれない様、幅広く興味が持てる様に知識を増やせるようにする。	2年前	1	○			○			○	
90			○	フォト&ファッションⅡ	フォトは写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によっての注意点等を理解し、実践力を身につける。 ファッションは自身の好みだけにとらわれない様、幅広く興味が持てる様に知識を増やせるようにする。	2年後	1	○			○			○	
91		○		サロンワークⅠ-D	①マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。 ②「美」をとおして人を魅了することへの表現力を身につける。	2年前	2			○	○			○	○
92		○		サロンワークⅡ-D	①マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。 ②「美」をとおして人を魅了することへの表現力を身につける。	2年後	2			○	○			○	○
93			○	エステティックカウンセリングⅡ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。	2年前	2	○			○			○	

94			○	エステティックカウンセリングⅢ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。	2年後	2	○			○			○	
95			○	サロントリートメントⅠ	選択科目の知識、技術を学ぶ。	2年前	2		○		○			○	
96			○	サロントリートメントⅡ	選択科目の知識、技術を学ぶ。	2年後	2		○		○			○	
97			○	エステティック総論Ⅰ-A	エステティック知識総合（資格試験対応）	2年前	4	○			○			○	
98			○	エステティック総論Ⅱ-A	エステティック知識総合（資格試験対応）	2年後	4	○			○			○	
99			○	フェイシャルマニュピレーションⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。	2年前	2		○		○			○	
100			○	フェイシャルマニュピレーションⅡ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。	2年後	2		○		○			○	
101			○	フェイシャルスキンケアⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。 電気機器の正しい取り扱い、効果、禁忌事項、留意点について理解する。	2年前	2		○		○			○	
102			○	フェイシャルスキンケアⅡ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。 電気機器の正しい取り扱い、効果、禁忌事項、留意点について理解する。	2年後	2		○		○			○	
103			○	ボディベーシックⅠ	応用トリートメント（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得 ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。	2年前	2		○		○			○	
104			○	ボディベーシックⅡ	ボディ分析・スエディッシュマッサージ練習・脱毛などを中心にAEA上級エステティシャンの試験対策を行う。	2年後	2		○		○			○	
105			○	ボディテクニカルⅠ	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得。 エステティック機器の技術、知識を深める。	2年前	2		○		○			○	
106			○	ボディテクニカルⅡ	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得。 エステティック機器の技術、知識を深める。	2年後	2		○		○			○	

107			○	プロボディⅡ	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。	2年前	2		○		○			○	
108			○	プロボディⅢ	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。	2年後	2		○		○			○	
109			○	プロフェイシャルⅡ-B	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得する。	2年前	4		○		○			○	
110			○	プロフェイシャルⅢ-B	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得する。	2年後	4		○		○			○	
111			○	プロフェイシャルⅡ-C	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得する。	2年前	2		○		○			○	
112			○	プロフェイシャルⅢ-C	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得する。	2年後	2		○		○			○	
113			○	エステティック総論Ⅰ-B	エステティック知識総合（資格試験対応）・皮膚学・生理解剖学・栄養学・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。	2年前	2	○			○			○	
114			○	エステティック総論Ⅱ-B	エステティック知識総合（資格試験対応）・皮膚学・生理解剖学・栄養学・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。	2年後	2	○			○			○	
115			○	エステティック総論Ⅰ-C	アロマテラピー検定対策（ヒーリングエステ専攻対応）とアロマテラピーⅠで学んだ知識の総復習。 選択科目の理論を学ぶ。	2年前	1	○			○			○	
116			○	エステティック総論Ⅱ-C	アロマテラピー検定対策（ヒーリングエステ専攻対応）とアロマテラピーⅠで学んだ知識の総復習。 選択科目の理論を学ぶ。	2年後	1	○			○			○	
117			○	アロマテラピー総論Ⅰ	エステティック知識総合（ヒーリングエステ専攻対応）・スキンタッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール。	2年前	2	○			○			○	
118			○	アロマテラピー総論Ⅱ	エステティック知識総合（ヒーリングエステ専攻対応）・スキンタッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール。	2年後	2	○			○			○	
119			○	スパセラピーⅠ	選択科目の技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー	2年前	3		○		○			○	
120			○	スパセラピーⅡ	選択科目の技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー	2年後	3		○		○			○	

121			○	検定対策Ⅱ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる。	2年前	4	○			○			○	
122			○	検定対策Ⅲ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる。	2年後	4	○			○			○	
123			○	検定対策＆スカルプチュアⅠ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する。	2年前	4	○			○			○	
124			○	検定対策＆スカルプチュアⅡ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する。	2年後	4	○			○			○	
125			○	ジェルネイルⅡ	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる。	2年前	2		○		○			○	
126			○	ジェルネイルⅢ	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる。	2年後	2		○		○			○	
127			○	コンテストⅡ	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる。	2年前	1		○		○			○	
128			○	コンテストⅢ	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる。	2年後	1		○		○			○	
129			○	ネイルケアⅡ	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する。	2年前	2		○		○			○	
130			○	ネイルケアⅢ	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する。	2年後	2		○		○			○	
131			○	ネイルアートⅡ	ポリッシュアートなどのフラットアートから３Ｄアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する。	2年前	2		○		○			○	
132			○	ネイルアートⅢ	ポリッシュアートなどのフラットアートから３Ｄアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する。	2年後	2		○		○			○	
133		○		サロンワークⅡ-F	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。	2年前	1			○	○			○	○
134		○		サロンワークⅢ-F	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。	2年後	1			○	○			○	○

135			○	エステティックカウンセリングⅠ-J	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ。	2年前	1	○			○			○	
136			○	エステティックカウンセリングⅡ-J	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ。	2年後	1	○			○			○	
137			○	アロマテラピーⅡ	アロマテラピー検定対策。アロマテラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用。	2年前	1	○			○			○	
138			○	アロマテラピーⅢ	アロマテラピー検定対策。アロマテラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用。	2年後	1	○			○			○	
139			○	フェイシャル&ボディⅡ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。	2年前	3		○		○			○	
140			○	フェイシャル&ボディⅢ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。	2年後	3		○		○			○	
141			○	ネイルケア&ネイルアートⅠ-J	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、ＪＮＥC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する。	2年前	2		○		○			○	
142			○	ネイルケア&ネイルアートⅡ-J	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、ＪＮＥC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する。	2年後	2		○		○			○	
143			○	検定対策&ジェルⅠ	JNEC2級・ＪＮＡジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る。	2年前	2	○			○			○	
144			○	検定対策&ジェルⅡ	JNEC2級・ＪＮＡジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る。	2年後	2	○			○			○	
145			○	パーソナルヘア&メイクⅡ	１年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2年前	1		○		○			○	
146			○	パーソナルヘア&メイクⅢ	１年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2年後	1		○		○			○	
147			○	トータルメイクⅠ	メージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。	2年前	1		○		○			○	
148			○	トータルメイクⅡ	メージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。	2年後	1		○		○			○	

149			○	ヨガ・ピラティスⅠ	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。	2年前	1		○		○			○	
150			○	ヨガ・ピラティスⅡ	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。	2年後	1		○		○			○	
151			○	ダイエット学Ⅰ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を学ぶ。	2年前	1		○		○			○	
152			○	ダイエット学Ⅱ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を学ぶ。	2年後	1		○		○			○	
153			○	インターンシップⅠ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	1年後	1			○		○	○		○
154			○	インターンシップⅡ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	2年前	1			○		○	○		○
155			○	インターンシップⅢ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	2年後	1			○		○	○		○
合計					155 科目											

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業要件単位数は３１単位に当該学科の修業年限相当数を乗じた単位数以上とする。	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	原則として教育課程に定められている順序で履修する。 サロンワークⅡ-Ⅰ、サロンワークⅢ-Ⅰ、施設実習Ⅰ、施設実習Ⅱ、着付けⅠ-A、着付けⅠ、着付けⅡ、サロンワークⅠ-H、サロンワークⅡ-H、サロンワークⅠ-D、サロンワークⅡ-D、サロンワークⅡ-F、サロンワークⅢ-F、インターンシップⅠ、インターンシップⅡ、インターンシップⅢにおいては必履修科目とおいている。	１学期の授業期間	15 週